

広 報 費

支払日	内 容	金 額 (円)	領収書No.
3/28	参輝会会報作成・新聞折り込み配布	566,227	2
計		566,227 円	

合 計	566,227 円
-----	-----------

貼 付 欄	領収書 No.
	2

領 収 証

周南市議会 参輝会 様

No.

★ ￥ 566,227-

内 訳 _____
 現 金 _____
 小切手 / _____
 手 形 / _____

但 参輝会会報 2022春号代として
 2022年 3月 28日 上記正に領収いたしました



消費税額等 (%) _____

Designroom I&F
 〒745-0054
 山口県周南市西松原2-4-17
 TEL・FAX0834-22-0405

コクヨ ウケ-98

こんにちは 周南市議会『参輝会』です。

周南公立大学誕生!

周南市には、昭和46年(1971年)今から50年前、当時の徳山市において公設民営で開学した徳山大学があり、文化・経済面で一定の役割を果たしておりましたが、時代の趨勢として地方大学が抱える問題も存在していました。議論の中で公立化への要望書の提出もされ、大学自身のミッションの再定義として「地域の持続的発展と価値創造のための成長エンジンになること」を目指して、公立化への機運が高まりました。

周南市議会では、令和2年6月に「徳山大学公立化に関する調査特別委員会」を立ち上げ、公立化にフラットな立場で調査してきました。これらを受け令和3年8月臨時議会において大学設立に向けた定款の制定をはじめ公立化に関する議案が可決されました。そして11月には評価委員会が設置され、12月には山口県および文部科学省から公立大学法人の設立が認可され、令和4年4月の設立の運びとなりました。



※イメージについては、建築時点でのものであり、変更となる場合があります。

令和6年に学部・学科の再編、看護学科(80人)情報科学科(50人)新設!!



※イメージについては、建築時点でのものであり、変更となる場合があります。

新たな学部学科でめざす教育

看護学科では、4年間の教育プログラムの中で、資格取得に必要な専門知識や技能の習得にとどまらず、超少子高齢化の進展に伴って複雑化・多様化する医療・介護提供体制の変化に対応するための人間性や課題発見解決力などの総合的な能力を育成します。公立大学の視点として、地域看護や在宅看護にウエートを置いた教育を行います。

また情報科学部では、データサイエンスをベースとして、学部横断的な教育や研究を実施します。情報科学分野の専門的人材に加えて、情報科学のわかるビジネスパーソンや医療・福祉人材など、Society 5.0において地域の発展を支える人材育成を行います。(広報しゅうなんvol.448「新学長に聞きました」から抜粋)

周南市議会 議長 青木 義雄

徳山大学が50年の歴史と伝統を発展的に進化する形で周南公立大学に生まれ変わります。OBの一人として(昭和61年3月卒業)青春時代の思い出が詰まった我が母校が、周南市の未来の成長に大きな原動力となる事の可能性を感じます。

参輝会 代表 福田 文治

夢のある周南公立大学 一理事長兼学長の高田氏の豊富な経験と実績に大いに期待するものです。「まちづくりは人づくり」まさに人が街を変える第一歩と思う。地元で愛される大学と安定した財政運営の確立をお願いしたい。

徳山大学公立化に関する調査特別委員会 委員長 長嶺 敏昭

すでに今年の志願者も飛躍的に増加したとの情報もあります。2年後の新学科の募集時には定員が400人と増員され、地域経済も活性化するでしょう。全国から優秀な学生に周南公立大学を目指して欲しいものです。

激動の時代を乗り越えて持続可能なまちづくりを

—昨年発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界に蔓延し、猛威を振るい多くの人命を奪い、生活の安心安全は脅かされました。およそ2年間に及ぶコロナウイルス拡大の最前線で懸命に治療に当たっていただいております医療従事者の皆様には心より敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

令和4年に入っても感染力の非常に強いオミクロン株が全国的に蔓延し、多くの都道府県が蔓延防止等重点措置対象区域に指定されて、感染防止が実践されたところですが、山口県においては2月20日をもって指定解除されたところではありますが、今後も日常における基本的な感染対策が必要となります。

令和4年2月に開催された冬季オリンピックでは、日本選手団は過去最高のメダルを獲得し、多くの感動と勇気を与えてくれました。トップアスリートたちの真摯に競技と向かい合う姿勢は、世界中の人々に発信され評価されたと思います。しかしながら、その直後にロシアのウクライナ侵攻が始まりました。武力による一方的軍事侵攻は断じて許すことはできません。多くの尊い人命が奪われ、安心安全な生活が破壊され、国際社会の平和と安全を根底から揺るがす暴挙です。早急に完全撤退を強く求め、ウクライナに平和が取り戻されることを心より祈念します。

激動の時代の中で、地域は著しい人口減少社会が進んでいます。周南市の人口も14万人を切ってしまいました。今後も厳しい人口減少が予測されます。持続可能なまちづくりの取り組みに猶予はありません。まったなしです。



新型コロナウイルスに打ち勝つ

新型コロナウイルスの終息が見えない中、これまで各種イベントの中止や外出行動の自粛などが度重なり、活動が制限され、閉塞感が漂い、市民生活や地域経済活動の影響は甚大なものがありました。日々の生活において外出の自粛、手指消毒の徹底、マスクの着用、身体的距離の確保などの感染予防対策は不可欠となりました。人と人が互いに距離をとりながら、なるべく接触の機会を減らす「新しい生活様式」の実践が日々求められます。三回目のワクチン接種が進んでいますが、気を緩めずに新しい生活様式を実践していくことが大切であると思います。

令和4年は、行政と市民が一体となって新型コロナウイルスを克服して、持続可能な周南市へ大きく踏み出す、飛躍の年にしなければならないと思います。

進化する議会

本年6月までの議長任期に当たって、就任当初から掲げてきた「進化する議会」をテーマに全力で職務に邁進します。現在、周南市議会においては新型コロナウイルス感染症の対応として、会議の際はアルコール消毒液で手指消毒をし、マスクを着用して入場することを義務付けています。議場内は十分な換気量を確保し、できる感染予防対策を取りながら、議会を開催してきました。傍聴される方にも同様に、手指消毒およびマスク着用をお願いし、傍聴席では身体的距離の確保のため、十分な間隔がとれるように座席を指定するなどの対策を取ってまいりました。活発な議論が展開されている周南市議会本会議場に、多くの市民の皆様が傍聴にお越しいただけたらと思います。周南市議会は身近でわかりやすい「開かれた議会」をめざして、ホームページで政務活動費の収支報告書や領収書、視察報告書の公開、政治倫理条例に基づいての所得等報告書の提出など様々な議会改革に取り組んできました。これまで積み重ねてきたものを生かしつつ、時代の流れを取り込みながら、主役である市民の皆様の声に耳を傾けて、二代表制の議会としての機能と役割を最大限に発揮できるように努力してまいります。ご理解とご支援を賜りますようお願い致します。



一般会計に30億円繰入

ボートレース徳山の歴史と背景

歴史

ボートレース徳山は、昭和28年に県東部唯一の公営競技施設として誕生しました。当時の黒神直久市長が「政治生命と自身の財産をかけた不退転の決意」で実現し、ボートレース事業による収益は、戦争で壊滅的な打撃を受け復興財源が不足していた当時の市政運営に大きく貢献したと言われています。そして、ボートレース徳山と深い関わりがあるのが、昭和35年にオープンした徳山動物園（現：周南市徳山動物園）です。ボートレース事業で市民に負担をかけた分、家族そろって楽しめ癒される施設をつくりたいとの黒神市長の思いから開設に至ったと伺っています。

高度経済成長期に市の財政を支えてきたボートレース事業ですが、レジャー産業の多様化に伴い、平成5年をピークとしてしばらくの間、厳しい売上状況が続きました。

改革

この間、ファンの皆さまのご理解をいただき様々なサービスの見直しが行われるとともに、平成16年には適正かつ効率的な開催体制の構築を図るため、臨時従業員328名の退職金6億3,000万円をボートレース振興会から借り入れる等の将来を見据えた大胆な改革に着手され、時代の変化に対応した経営改善を進めてられました。

こうした経営努力と併せ、業界2番目となるモーニングレースの取り組みにより、売上も飛躍的に伸び、令和2年度は開設以来の最高売上額835億5,156万円を記録するとともに、繰出額も令和3年には30億円、これまでの繰出累計額は674億3,441万円と、周南市の発展に大きく寄与してられました。改めてボートレースを支えてくださっている**ファンの皆さまに心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。**

地域貢献

最近では、地域貢献の取り組みとして、コロナワクチン接種会場や災害時対応のための物資貯蔵場所として施設が活用されるなど、地域コミュニティ拠点としての役割を担うとともに、公営競技としてギャンブル依存症問題にも業界関係団体と連携を図り、啓発や相談体制の充実に取り組まれています。

ボートレース徳山の収益金の一部は、周南市が行う子育て支援に役立てられているほか、新型コロナウイルス感染症対策、公共施設の改修や解体に備えるための基金に積み立てられるなど私たちの生活の様々なところで役立てられています。



「この街にボートレース場があって良かった、家族や友人と気軽に安心して遊べる場所」と市民の皆さまに思っただけのよう、これからも、**ファンの皆さまのあたたかいご声援と選手をはじめとする業界関係者のご支援・ご協力をいただきながら、ボートレース徳山を応援してまいりたいと思います。**

パーパス(市政推進の目的・心がけ)

『2050年を乗り越えられる周南市になる』

令和4年度 市長施政方針(抜粋)

私たちの地域社会においても「持続可能性」の問題は、人口減少や地域の萎縮という極めて厳しい現実となって押し寄せてきています。私は、このような時代の流れに、行政は俊敏であるべきだと考えています。(中略)この節目の年まで、人口減少を少しでも鈍化させ、地域、経済の萎縮を抑え、活力と品格のある、選ばれ、住み続けられるまちづくりを、根気よく勇気をもって実行していくことが何より必要と考えています。

長嶺敏昭の視点

市長は施政方針で本市の存在意義を明確に持ったパーパスを掲げ「**施策の束**」として展開をする、という表現をされました。適切な施策をシャワーのように、矢継ぎ早に投入し、人口減少に歯止めをかけ、周南市の活性化、暮らし易さを追求しようとする宣言であろうと解釈いたします。市長は「**子どもの未来をつくりたい**」と、いずれ周南市の原動力となる子供達への視線を市政運営の柱にされており、すでにパーパスに等しいものを掲げておられるようにも見えます。「みんなで子育て応援プロジェクト」「輝く子ども育成プロジェクト」は昨年新設した「子ども局」を中心に取り組みがされます。本市には、コンビナート企業群からの税収、ボートレース事業収益からの繰入金など特筆すべき歳入があります。「**他市にはない基金・財源を活かした具体的なソフト政策がシャワーのように実施できる都市**」であることを前面に出して、お得感に敏感な市民をはじめ、県内あるいは全国に戦略性を持ってPRし、若者の定住や流入への動機付にしなければなりません!



国民健康保険鹿野診療所に地域医療を担う待望の若い常駐医師着任!

長年、常駐医師が不在であった鹿野診療所に待望久しい常駐医師が4月より周南市の医療職員として着任されます。鹿野診療所は週三日の診療で北部無医地区の診療にも当たられる計画のようです。また、これまでの県からの派遣医師も週二日の診療は継続されるようです。着任される医師が語られたという「**医師への入口は地域医療**」との金言を伺ったところです。また、診療所設備の充実に**電子内視鏡(胃カメラ)**が導入され、高速通信環境を整え本格的な**オンライン診療**で専門医へつなぐことも出来るようになると思われます。地域としても、大切な我が町のお医者様としてお迎えし、歓迎ムードを作りたいと思っています。



鹿野街なか街灯リニューアル事業を起点に 観光拠点整備を目指せ!

鹿野地区対象の最後の過疎計画にも明記されていた「街なか街灯リニューアル事業費」が予算計上されました。主に鹿野中心部に設置されている水銀灯の街灯69基をLED化するなど、管理する街灯組合からの地元負担を含む改修計画に対する補助要望に応えたものです。この事業を起点に現鹿野総合支所跡地だけでなく、せせらぎ・豊鹿里パーク周辺までも俯瞰した観光拠点開発を進めてほしいものです。